

根城中学校地区のまとめ
(根城中・根城小・江南小・田面木小)

1. 概要

(1) 児童・生徒数(カッコ内は通常学級数)

	6 年前		現在 (H22.5.1)		6 年後	
	児童生徒数	通常学級数	児童生徒数	通常学級数	児童生徒数	通常学級数
根城中	827	23	514	16	434	13
根城小	580	18	503	15	381	13
江南小	227	8	144	6	243	9
田面木小	302	11	286	11	241	10

(2) 部活動

	運動部														文化部															
	陸上	器械体操	水泳	バレーボール	バスケットボール	サッカー	野球	ソフトボール	柔道	剣道	相撲	ソフトテニス	卓球	バドミントン	ハンドボール	新体操	アイスホッケー	スキー	スケート	その他	吹奏楽	合唱	バトン	コンピュータ	科学	美術	家庭	その他		
根城中	男	○		◎	○	○	○		○			○	○						○		○	○					○	○		
根城中	女	○	○	◎	○			○	○			○	○						○		○	○					○	○		
根城小		●			○	○	○					○	○						○			○	○					○	合奏(吹奏)	
江南小					○	○	○												●										○	神楽
田面木小					○	○	○					○	○								○									

(「○」: 部活動、「●」: 一定の時間以外はスポーツ少年団等の活動として活動「◎」: スポーツ少年団、愛好会等)

(3) 学区外通学

学校名	学区外	主な相手校	主な理由	備考
根城中	流出	第二中 長者中 白山台中	教育的配慮 部活動への配慮	熊野堂・長根二丁目の一部・売市四丁目 の一部は距離的理由により第二中へ学区外 通学可能
	流入	長者中 第二中 白山台中	教育的配慮 部活動への配慮	
根城小	流出	長者小 江南小 八戸小	留守家庭 教育的配慮 距離的理由	南鹿島の一部は距離的理由により白山台 小へ学区外通学可能
	流入	江南小 田面木小 白山台小	留守家庭 教育的配慮 兄妹姉妹関係	
江南小	流出	根城小 八戸小 城下小	留守家庭 距離的理由 兄妹姉妹関係	熊野堂・長根二丁目の一部・売市四丁目 の一部は距離的理由により八戸小へ学区外 通学可能
	流入	根城小 八戸小 田面木小	留守家庭 教育的配慮 距離的理由	松園町・松園団地・は距離的理由により田 面木小から学区外通学可能
田面木小	流出	根城小 明治小 江南小	留守家庭 教育的配慮 距離的理由	松園町・松園団地・は距離的理由により江 南小へ学区外通学可能
	流入	白山台小 西園小 江南小	留守家庭 教育的配慮 転居予定	

2. 寄せられた意見

※根城中=根中、根城小=根小、江南小=江小、田面木小=田小

区分	意見照会		地域意見交換会
	結果	記述意見(主なもの)	当日意見・会場アンケート(当)
1.通学区域	見直すべき		当 当
	根中	2/11	
	根小	4/14	①現在の道路状況にあわせた学区の線引きをすべきである。 ②江南小は学区外通学による流出者が多すぎるので、学区を厳密化し、きちんと調査すべきである。
	江小	1/11	
	田小	3/18	
	①南田面木だけが白山台中学区であるので見直すべき。(根中) ②学区の線引きを見直して江南小と一緒にしたほうがよい。(根小) ③学区外での流出が多いため学区は守るべき。(中)小 ④同じ町内で学校が分かると行事等がスムーズにいかない。(田小)		
2.通学路	注意が必要		当
	根中	0/11	
	根小	3/14	①雨が降ると根城の青森銀行前の横断歩道に水溜りができ、子どもが足を濡らして帰ってくるので何とかしてほしい。 ②ゆりの木通り、馬場頭交差点は交通量が多く注意が必要である。(江南) ③国道104号線は交通量が多く歩道もないため危険である。(田小)
	江小	4/11	
	田小	11/18	
	①根城三丁目ユニバース付近は街灯が少なく危険である。(根小) ②ゆりの木通り、馬場頭交差点は交通量が多く注意が必要である。(江南) ③国道104号線は交通量が多く歩道もないため危険である。(田小)		
3.学校規模	過大 大きすぎる や大: やや大きい 適正: 適正である や小: やや小さい 過小: 小さすぎる		当 当
	根中	1 9	
	根小	1 9 4	①や小) 全学年1学級のため、学年2学級程度の人数が欲しい。(江小) ②過小) クラス替えができない。またPTA活動も大変である。(江小)
	江小	1 7 3	
	田小	1 11 5	
	①や小) 全学年1学級のため、学年2学級程度の人数が欲しい。(江小) ②過小) クラス替えができない。またPTA活動も大変である。(江小)		
4.部活動	見直すべき		当
	根中	7/11	
	根小	5/14	①児童生徒数に対して部の数が多すぎる。(根中・根小) ②部活動をクラブ化して教員の負担を軽減すべき。(根小) ③学校単位ではなく根城地区合同での部活動を取り入れてはどうか。(江小)
	江小	6/11	
	田小	8/11	
	①児童生徒数に対して部の数が多すぎる。(根中・根小) ②部活動をクラブ化して教員の負担を軽減すべき。(根小) ③学校単位ではなく根城地区合同での部活動を取り入れてはどうか。(江小)		
5.適正配置 全般	①どんなに少なくなっても、生徒が5人以上いれば学校を継続すべきである。(根中) ②現在の少子化傾向を見ても、本格的に統廃合を検討すべきである。(江小)		当 当
	①子どもたちに十分な教育活動を行うためには統廃合もやむなしと思う。 ②同じ学区内で児童の取り合いがおきかないよう十分話し合うべきである。		
6.その他	①中・高学年になっても少人数学級を継続してほしい。(根小) ②仲良しクラブの見直しが必要である。(江小)		当
	①仲良しクラブの預かり時間に配慮してほしい。		

3. 論点の整理

学校	論点	備考
根城中	他 ①児童数が減少している。	・白山台中学校が開校した平成19年以降は500人台で推移していたが、今後は徐々に減少する見込みである。
根城小	意 ①一つの町内で学区が二つに分かれる。	・江南小学校との距離が近いこと、両校に隣接する東根城・南売市は、地番により学区が分かれる。
江南小	意 ①児童数が減少している。 ②学区外による流出が多い。	・学区外により学区内の5割以上の児童が流出している。 ・学区外の流出により全学年1学級であり、クラス替えができない。 ・同じ根城地区内にある根城小とは規模の差が大きく、中学校で一緒になったときのギャップが大きい。
田面木小	他 ①中学校が分かれる。	・学区のうち南田面木(35/309)は白山台中学校、それ以外は根城中学校が指定校である。 ・白山台中学校建設当時、地域の総意として南田面木は学区を変えた経緯がある。また、隣の中田面木は地域の判断で根城中学区のままとした。 ※カッコ内は(町内児童数/学区内児童数)である。

(意: 寄せられた意見から導出したもの、他: その他、教育委員会で把握しているもの)